

第1回学校運営協議会

＜次第＞進行 教頭

1 開 会

- (1) 挨拶 会長
- (2) 挨拶 校長
- (3) 自己紹介
- (4) 任命書の配付

◇日時 令和7年5月21日（水）

18:15～19:45

◇会場 視聴覚室（2階）

2 議 事 （議長：会長）

（1）令和7年度学校運営協議会組織と規約について（会長）

- ・事務局長、事務局次長承認
全会一致で承認

（2）令和7年度の教育活動について（校長）

- ・グランドデザイン、春日中学校区小中一貫教育等

研究と修養（こどもと共に教師も成長する）お互いに研鑽していく。指導者の質を上げる。
研究したことが子どもたちに還っていくように努める。

「よりよく かかわる」を推し進めていく。

春日中学校区がR6より同和教育指定地区として、研究を進めている。

将来を見据えて、多様な子どもたちを中学校区全体で支えていく。「架け橋プログラム」を意識して幼保小連携を大切にしていく。

昨年度のアンケート結果から、春日小はメディアへの依存度が高いことが分かった。「メディア自制」という言葉を用いて、子どもたちが自制、調整する力を高めていく。

- ・同和教育について

義の心部が主催で講演会や授業公開を行う。いじめ見逃しゼロスクール集会とタイアップしていく。昨年度は、保護者・地域住民の参加がなかったので、今年度は参加案内を配付する予定である。

（3）夢・志チャレンジスクール事業について（教頭）

- ・昨年度は、学校運営協議会、学校支援本部のご支援のおかげで、生活科・総合的な学習等、充実した活動になった。地域への愛着や誇りを持ち続けるため、今年度も支援をお願いしたい。

（4）令和6年度学校運営協議会の振り返りについて（教頭）

→生活習慣やメディア自制が課題である。

保護者と連携して取り組む。メディアと学力は相反することを伝えていく。

1・3・5年生でメディア自制について親子の講演会を開いている。年齢が上がるにつれ、メディアの時間も増加している。

→スマホやタブレットで子守りをさせているのではないかな？使い過ぎると仮想と現実があいまいになる。保護者が率先して、適切な使い方を見せなければならない。

(5) 令和7年度の支援要望について（当日配付資料：主幹教諭）

1回目は、なかなか集まらなかった。9月に再募集をかけたい。

→支援本部以外でも広げていきたい。規模の割にPTAのボランティアが少ない。

（体育祭など）本部役員以外4人だけ。誰かがやるだろう、周りに知り合いがいない、保護者の名前が分からないという実態がある。

→学校によっては、専門部を解体して、ボランティアに移行している。

環境整備の活動は、希望者が多かった。

→詳しく活動を紹介していく。個々で依頼すれば、参加してくれる。知り合いから繋げていくしかない。

中学校は、前日まで体育祭のボランティアを募集していた。（飛び入り参加も可）

→自分が参加してよいのか躊躇している。子どもの反応が怖い方もいる。

新型コロナウイルス感染症の影響が子どもにも大人にもあるのではないかな。

お試しでもよいので、気軽に参加してほしい。

町内会長さんのお力などを借りる。具体的な要望があると動きやすいのではないかな。

(6) その他

- ・今後の教育活動について

→自動車の事故について 指導している時は歩けるが・・・普段の歩き方は気になる。

あいさつについて 下校時は「こんにちは」とあいさつをしてくれる。

教育実習生の元気がない。あいさつが少ない。保護者も同様である。

3 連絡事項

(1) 今後の学校運営協議会の日程について（予定）

春日中学校区三校合同学校運営協議会（期日は未定）

第2回……令和7年9月10日（水）18時15分～ ※学習参観日

第3回……令和8年2月12日（木）18時15分～

(2) その他

- ・児童クラブの移設について 1年間かけて既存の場所を解体し、畑の場所に新設する予定

- ・CSメンバーで打診していた方は、多忙であり難しいとのこと。今年度は、このメンバーで運営する。

- ・糸魚川市教育委員会から視察がある。春日小はカリキュラム検討会から地域住民が参加しているが、そのような取組は珍しく、CSや学校の取組について、話を聞きたいという要望が

あった。

- 金管バンドのアンケートは、回答者が60数人程度である。再度アンケートを実施したい。
- 6年生は、「地域盛り上げたい」としてふれあいコンサートに参加する予定である。
- 「身だしなみのきまり」について、保護者に意見を聞いた。「きまり」という言葉を「きほん」基本に変えて、提案したい。中学校の接続もある。個別な対応が必要な場合もある。いじめにつながらないように十分に配慮する。

4 閉 会

挨拶 （事務局次長）